

TIME	映像	内容
	<p>タイトルVTR</p>	<p>オープニングタイトル</p>
	<p>スタジオ</p> <p>2S</p> <p>T 麒麟 田村 裕</p> <p>T 藤井未莉佳</p>	<p>田村：「お元気ですか！市民のみなさん」 麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井：藤井未莉佳です。</p> <p>藤井： 田村さん、トリック オア トリート！</p> <p>田村： イエーイ。</p> <p>藤井： なんですか、そのノリは！</p> <p>田村： どう返していいのか分からへんから、とりあえず「イエーイ」って 言ってみましたけど、なんですか？</p> <p>藤井： 10月31日は「ハロウィン」ということで。</p> <p>田村： あ、そうか！もうそんな季節ですか。</p> <p>藤井： 私も魔女の仮装をしました。</p> <p>田村： よくお似合いですよ。すごく似合ってます。 「この格好で来たんかな？」ってくらい。</p> <p>藤井： そんなに馴染んでますか？ありがとうございます。 せっかくのハロウィンなので、田村さんにも用意してきたんですよ。</p> <p>田村： すごいですね。</p>

藤井：

とってもお似合いですねー！
なんかバスケットボールそのものって感じがしますね。

田村：

ホンマや！バスケットボール感がすごいわ！

藤井：

どっちが顔か分からない感じが。

田村：

しばいたろか！

藤井：

いや、良い意味で。すごくお似合いです。

田村：

良い意味ちゃうやろ、どう考えても。イジっとるやないか。

藤井：

今日は楽しい気分でワイワイ賑やかに送りしたいと思います。

田村：

分かりました。お願いします。

藤井：

みなさんを楽しませてくださるサービス精神旺盛な田村さんなら
もう当たり前のことかもしれませんが、
田村さんはボランティア活動はされていますか？

田村：

この格好で真面目な話するんですか？

藤井：

ボランティアにもいろいろあるんですよ。

田村：

進めますね。

藤井：

ボランティア活動って何かされてますか？

田村：

次長課長の河本さんが岡山県で老人ホームを廻ってたのを
お手伝いさせてもらったりとか、そんな形で時々やらせて
もらってます。

藤井：

最近のお話ですよ。

田村：

そうですね。

藤井：

田村さんのような有名な方が、
ボランティア活動に参加するニュースが報道されるなど、
ボランティアに関する関心は身近なものになってると思います。
でも、どうやったらいいんだろうと感じている方も多いですよ。

田村：

確かに、最初にやるきっかけが分からないって方いるかもしれない。

藤井：

ということで、今回の特集は「できることからボランティア」
と題して、市内で気軽に参加できるボランティア活動について
ご紹介します。

VTR

藤井NA

大規模災害時のニュースなどで目にすることが多くなったボランティア活動。

内閣府の調査では59%を超える人が「ボランティアに関心がある」と答えていますが、実際に活動に至っている人はまだまだ少ないのが現状です。

伊藤：

「ボランティアがしたい！何か人の役に立ちたい！」っていうのは日々思っているんです。

僕のこの体力と爽やかさを活かして何かしたいと思っているのですが、初めの一歩が出ないんです。

でも、そういう人多いんじゃないでしょうか？

ということで、今回はどうしたらいいかを一緒に調べて見ましょう！

タイトル「できることからボランティア」

伊藤：

そもそもボランティアをしようと思ってもどこに行ったらいいかわからないですね。

吹田市では、こちらの建物の中にある「ボランティアセンター」が窓口となっているようなんです。

藤井NA

ボランティアセンターは、吹田市内で「ボランティアをしたい人」と「ボランティアの応援が必要な人」を橋渡しするコーディネーターの役割を果たしています。

こちらでは、ボランティア活動の支援やこれから始めたい人に対する講座や研修会も行われているんですよ。

伊藤：

こちらでコーディネートしている活動には、どういったものがあるのですか？

社会福祉協議会 玉山さん：

主には2通りあります。まずグループに入っていていただいて活動するか、もしくは個人登録していただいて活動するかになります。

伊藤：

個人でも活動できるということなんですね。

玉山さん：

はい、できます。まずグループの方なんですけど現在登録していただいているのが96団体。

例えば、音訳グループさんであったり、翻訳グループさんであったり、おもちゃ作りなんかもされているグループさんがいらっしゃいます。個人でいうと「裁縫が得意なので裁縫でどこかボランティアできるところはないかな？」というご相談とかはあります。

藤井NA

ボランティアセンターでボランティアを始めるには既存のグループに参加する方法と、個人登録して個別の事案に対応する方法があります。また、新たに団体を立ち上げて登録する方法などもあるんです。

伊藤：

ボランティアって力仕事とか、そういうイメージがありますが、自分の趣味とかちょっとした特技を活かした事で人のためになるということが多いんですよ？

玉山さん：

そうですね。

伊藤：

例えば僕が「明日からボランティアを探したい！」と言ったらまずどうすればいいんですか？

玉山さん：

まず、こちらの窓口に来ていただいて、個人登録用紙に必要な事項を書いていただきます。

その中で「ボランティアに来てほしい」という形で受け付けをしたものとマッチングさせていただいて活動先を紹介という形になります。

伊藤：

どうですか、田村さん！

麒麟の田村さんがスタジオにいるんですけど、いいんじゃないですか、

「漫才講座」とか「ものづくり段ボール講座」とかね！

あっ！「本を書く講座」いいんじゃないですか？

玉山さん：

そうですね。ぜひよろしくをお願いします。

伊藤：

よろしくお願いします。

藤井NA

ということで、ここからはあなたにピッタリなボランティアをタイプ別に探してみましょ！

まずは、グループに参加するタイプのボランティアです。

伊藤：

さて、こちらは山田北にあります特別養護老人ホームの「みらい」さんなんですが、こちらでは朗読のボランティアが行われているそうです。

藤井NA

市内で高齢者施設や小学校などで読み語りや紙芝居など行っている朗読工房さん。

会員33人の女性を中心にしたボランティアグループです。

今回は高齢者向けに絵本や川柳、百人一首などの朗読が行われました。

ご覧の通り、朗読工房さんのプログラムは全員参加型。

高齢者の方もマイクを握ってみんなの前で声を出すんですよ。

そして、なぜか伊藤さんも朗読です。

伊藤：

よろしくお願いします。お邪魔しています。

大江山 いく野の道の遠ければ まだふみも見ず 天橋立

藤井NA

大いに盛り上がったイベント終了後、グループのメンバーにお話を伺いました

伊藤：

皆さん、お疲れ様でした。

朗読工房メンバー：

ありがとうございました。

伊藤：

すごく皆さん上手で、すごくハキハキと喋られてたんですけど、みなさんどういうお仕事されてたんですか？

朗読工房 A：

こういう（喋る）お仕事をしている人は居なくて、
ただ朗読とか読み聞かせが大好きっていう人たちです。

伊藤：

おしゃべりの仕事をされていた方はおられないんですか！
どういったきっかけで、皆さんこの朗読を？

朗読工房 A：

結局、朗読工房というところへ、私が教室をしているところへ
皆さん入ってきていただいて、私たち読むのが大好きだし
参りますと言って参加しているということです。

伊藤：

始められたきっかけというのは、誰かに誘われたんですか？

朗読工房 B：

会社辞めてからなんかやりたいなと思って、
たまたま喋るのが好きだったから来たのかなっていう。

藤井NA

退職後にできた時間などを利用して、朗読が好きな仲間が
集まってできた朗読工房さん。
みんなで楽しみながらボランティア活動を行ってます。

伊藤：

皆さん、こうやって人前でやられて、やりがいっていうのは
どういったところなんですか？

朗読工房 A：

一緒にお声を出したりして、私たちも喜びをもらって、
みなさんにも楽しんでいただくっていうのがやっぱり嬉しいです。

藤井NA

仲間と気持ちを共有しながらできるグループでのボランティア活動、
いかがでしたか？
続いては、個別の依頼に答えるタイプのボランティア。

依頼者 石橋さん：

お父さんが残してはる植木を、これだけは残しておいてあげたいなと
思って、植え替えをお願いしたんです。

藤井NA

ここでの依頼は亡くなったご主人が大事にしていた
植木の植え替えです。
そこでマッチングされたのが個人登録していた
菱沼（ひしぬま）さんと村岡（むらおか）さん。

伊藤：

どういった経緯で、この作業をすることになったんですか？

菱沼さん：

社会福祉協議会のボランティアの個人登録をしております。
それでこの作業を依頼されました。

伊藤：

登録はどういった内容でされているんですか？

菱沼さん：

自分にできること、趣味でやっていることをボランティアで
やってるだけのことです。

伊藤：

そういう事でもやっぱりボランティアにできるわけですね。

菱沼さん：

そうですね。

伊藤：

ちょっと僕、あんまりやった事ないですけど、手伝っていいですか？

菱沼さん：

はい、手伝ってください。男性の方が力が強いんで。

藤井NA

このような個別の依頼には、園芸の趣味や知識がある
ボランティアスタッフがマッチングされて現場に派遣されます。
ちょっとした趣味でも役に立つことはいっぱいあるんです。
さて、ここでもボランティアの方にお話を伺いました。

伊藤：

どのぐらいの頻度でこういうボランティア活動されてるんですか？

菱沼さん：

こういうボランティアじゃないけど、
ボランティアはほとんど毎日あるよね！

伊藤：

そうなんですか！？
空いてる時間は、もうボランティアをするという感じですかね？

菱沼さん：

空いてる時間にほとんどこれやって、
(ボランティア)が空いてる時間に家事をやっているという。

伊藤：

家事の合間じゃなくて、ボランティアが空いてる時間に
家事をやっているっていうんですね。
「これが楽しかった」とか、教えていただければ。

菱沼さん：

自分で楽しんでやっているということでしょう。
楽しくなければ続かないでしょう。ということだと思います。

伊藤：

人のためっていうよりも自分が楽しんで。

菱沼：

そうそう。そうでなかったらできないと思いますけど。
そんな人のためなんて大それたこと。

藤井NA

依頼に応えることで達成感が沸くのがこのボランティア
楽しみながら活動しているのが良くわかりますよね。

伊藤：

どうですか？綺麗になりました？

依頼者 石橋さん：

綺麗になりました。ありがとう！これで私も心残りないわ。

伊藤：

何を言うてるんです！！

依頼者 石橋さん：
ありがとう。

伊藤：
また時期が来たら呼んでください。

依頼者 石橋さん：
そうですか。

伊藤：
出来上がったやつ見ると気持ちいいですね。
それが快感ていうか楽しみなっているのがわかります。

藤井NA

そして、最も個人で参加しやすいのが、このタイプのボランティア。
ボランティアセンターが定期的で開催している
「コミュニティサロン」です。

伊藤：
このボランティアはボランティアセンターの一角を使って
定期的に行っているもので、プルトップの選別や使用済みの切手の
整理などを行っている、座ってできる簡単なボランティアなんです。

藤井NA

このボランティアに参加したい人は、コミュニティサロンが
開催される時間にこの場所に来るだけでOKなんです！
仕事も軽作業でボランティアを始めたい人にはぴったり！
やりたいけど悩んでるあなた！
いろんなボランティアの始め方があるでしょ？

伊藤：
どうですか！
自分にあったボランティアを見つけたらすぐにできますよね！

TIME	映像	内容
	スタジオ	<p>藤井： いろいろなボランティアがありましたよね。</p> <p>田村： 面白いですね。全然知らなかったですね。 「ボランティア＝災害」ってイメージがありましたけど、 生活に密着したボランティアがあると思ってなかったので、 良い機会ですね。</p> <p>藤井： 自分の得意なことを生かして、いろんな分野でボランティアが できるんですね。</p> <p>田村： 「自分が楽しいからやってるんだ」という心意気が良いですね。</p> <p>藤井： 園芸してるうちにどんどん元気になっていきましたよね。</p> <p>田村： お母さんのお喋りのテンションがどんどん上がっていったから 楽しいんでしょうね、やっぱり。</p> <p>藤井： 田村さん、「漫才講座」のボランティアの提案がありましたけど。</p> <p>田村： 俺、教えられるかな。子どもにバスケやったら教えられるけどね。</p> <p>藤井： それも良いですね。</p> <p>田村： そういうんやったらお手伝いしたいですね。 漫才はね、教えられる程の技術が俺に無いという。</p> <p>藤井： あります！あります！</p>

田村：

得意なところに「漫才」って書きます。

藤井：

そうですね。

ここまで、いろんなボランティアを見てきましたが、
続いては「災害ボランティア」についてご紹介します。

TIME	映像	内容
	<p>VTR</p>	<p>伊藤： そして、忘れてはいけないのが「災害ボランティア」です。 こちらの窓口もボランティアセンターが行っています。</p> <p>藤井NA 吹田市でも6月に発生した大阪府北部地震や台風21号で 被災した市民に向けた災害ボランティア窓口が開設されました。</p> <p>災害ボランティアに参加するには、まず開設されている窓口で 受付票を記入します。 次に、依頼があった作業とスタッフがマッチングされます。 行き先が決まったら資材などを準備し現場で作業を行い、 終了後にはセンターに戻り報告を行うというものです。</p> <p>伊藤： 災害ボランティアの心得というのを聞きたいんですけど。</p> <p>社会福祉協議会 山田さん： 災害ボランティアなんですけど、台風だとか地震だとか 災害によってボランティアさんが来ていただける状況が違いますので、 まずはご自身で情報収集していただけたらいいなと思っています。 その上で、活動に参加したいということでしたら、 ボランティア保険に事前に参加していただけたらいいなと思います。</p> <p>伊藤： 保険も加入しなければいけないということですね。</p> <p>山田さん： そうですね。 災害は力仕事というイメージなんですけど、それだけではなくて お話を聞くボランティアだとか、ボランティアのためのボランティア ということもありますので、女性の方でも気軽に来ていただければ 嬉しいなと思います。</p> <p>伊藤： 他に何か気をつけなければいけないことはありますか？</p>

山田さん：

できましたら昼食は各自でご用意いただきたいなと思うのと、
あとは活動に必要そうな軍手だとか、長靴だとかというところは
ご自身でご用意していただいたら。

伊藤：

ある程度は自分で持って行くんですね。

山田さん：

そうなんです。なので、お宿とかもこちらの方で確保できないので、
ご自身で見つけていただけたらなと思います。

伊藤：

わかりました。

僕ね、今回いろんなボランティアを体験して来たんですけど、
一歩足が進まなかったんですけど、
簡単にできることっていっぱいあるじゃないですか。
すごく勇気が出て、どんどんボランティアをしていきたいと思います。

山田さん：

ぜひ！

伊藤：

皆さんもどうですか？

TIME	映像	内容
	スタジオ	<p>藤井： 災害ボランティアといえば、岡山にボランティアに行かれたというのも災害ボランティアですか？</p> <p>田村： それは、老人ホームを廻ったんです。 災害ボランティアは、まだ行ったことないですけど、 確かに力仕事のイメージありますが、ボランティアのためのボランティアがあって、その準備するためにいろんなものがあるということなので、女性でも出来るということですから。</p> <p>藤井： そうですね。 力仕事だけじゃなくて、お話を聞いたりするってことだったら出来そうかなと思いました。 今回のVTRを見て「ちょっと私もやってみようかな」と思った方、ボランティアセンターでは、ボランティアを始めたい人、お願いしたい人、その他さまざまな相談も受け付けています。 詳しくは、社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問い合わせください。 今回は、ボランティアについてお届けしました。</p>

ワンポイント手話（40秒）

TIME	映像	内容
12:10 (0'45")	スタジオ	<p>田村： 続いては、このコーナー！「吹田の自由研究」！！</p> <p><u>スタジオバック（フライングタイトル）</u></p> <p>藤井： このコーナーは毎回あるテーマに沿って、あらゆる目線から「吹田」の街を自由研究していこう！というコーナーです。今回のテーマは、こちら「目からウロコ！図書館活用術」田村さんの活用術って何かありますか？</p> <p>田村： 図書館の？ そうですね、空腹の時に水を飲みに行くというね。</p> <p>藤井： 食べるんじゃなくて、水で満たすという。</p> <p>田村： 飲むというか、嚙んでましたけどね。</p> <p>藤井： 水も嚙んだら嚙むほど味がするんですか？</p> <p>田村： 味もしますし、お腹も満たされますから、嚙んだ方が。</p> <p>藤井： 図書館といえば「本を気軽に楽しむ場所」ということですが、ほかにも活用できる方法があるんです。今回の自由研究では、その一部をご紹介します。</p>

TIME	映像	内容
	VTR	<p><u>藤井NA</u> 今回、調査にやってきたのは出口町にある「中央図書館」です。 片山公園の緑に囲まれた静かな環境の図書館で、絵本や一般書のほか、 貴重な地域資料や行政資料なども保存しています。 そんな中央図書館でご紹介する活用術とは？</p> <p>大嶋さん： それは、レファレンスサービスです。</p> <p><u>藤井NA</u> 教えて頂くのは中央図書館 司書の大嶋さんです。 このレファレンスサービスとは、いったいどんなものですか？</p> <p>大嶋さん： レファレンスサービスというのは、毎日の生活の中で分からない事 ですかとか調べたいことがあったときに、図書館の職員が その調べ物をお手伝いさせていただくというサービスです。</p> <p><u>藤井NA</u> どんな内容でも手伝っていただけるんですか？</p> <p>大嶋さん： 日常のちょっとしたことから、文学や歴史、科学など幅広い分野の ことから、吹田市に関わる事柄など幅広く受付させていただいています。 例えば、お子様から「シャボン玉の色は虹色なのはなぜ？」ですか、 「栃の実を拾ったけど調理の仕方が分からないから教えて欲しい」 といった質問を受けたことがあります。 あと吹田市の昔の事ですか、歴史に関する事はインターネットでも 情報が見つからないことが多いので、ご質問いただくことが多いです。</p> <p><u>藤井NA</u> レファレンスサービスについてわかったところで、 こんなお願いをしてみました。</p> <p>スタッフ： この人について調べたいんですけど。</p> <p>大嶋さん： 麒麟の田村さんですね。 分かりました。では、お調べしますので少しお待ち下さい。</p>

お待たせしました。こちらになります。

藤井NA

大嶋さんが見つけてくれた田村さんの資料は、
こんなにたくさんありました！
ホームレス中学生から新聞記事、DVDまで種類は多岐に渡ります。

大嶋さん：

まずは、大ヒットした田村さんの自叙伝「ホームレス中学生」です。
田村さんの生い立ちとか、学生時代のこと、また家族への思いなど
その人柄をうかがうことが出来る資料になっています。
図書館では、子供用に書かれた児童書版も所蔵しています。
あと、田村さんのお兄さんが書かれた「ホームレス大学生」
こちら図書館に所蔵しています。

田村さんは吹田市出身の著名人でいらっしゃいますので、
吹田の図書館では、田村さんの事が載っている新聞記事の一部を
スクラップしています。

あと、珍しいものでは吹田市が過去に発行しました情報誌
「すいた HoHoHo」の創刊号に田村さんのインタビュー記事が
載っています。
こちらでは、田村さんが吹田市にある電車の駅についての思い出を
語っていらっしゃって、当時から吹田市への愛情というのが
感じられる記事になっています。

藤井NA

大嶋さんに伺いました。
「レファレンスサービス」の面白さは何ですか？

大嶋さん：

インターネットや本棚を探しただけでは出会えない資料に出会えること
だと思います。
調査の過程で新たな資料や情報に出会ったり、そこから興味の幅が
広がったりとどんどん世界が深まったり広がっていくところが、
レファレンスサービスの面白さだと思っています。
ですので、何か調べたい事があれば是非お気軽に図書館へお越し下さい。
また職員に声を掛けていただけましたら、お手伝いさせて
いただきますのでお待ちしております。

TIME	映像	内容
	スタジオ	<p>田村： これは、すごいサービスですね！</p> <p>藤井： 田村さんの記事がたくさんスクラップされてましたね！</p> <p>田村： あんな俺の家族でもやってないですよ。</p> <p>藤井： 親戚の人みたいでしたよね。 本を「田村さんの人柄をうかがい知る貴重な資料」と言っていましたね。</p> <p>田村： 「資料」という捉え方なんですよ。 ただの自叙伝なんですけどね。</p> <p>藤井： 貴重な資料の著者として、ご感想は？</p> <p>田村： もちろん置いていただいているのは有難いですけど、 お兄ちゃんを書いた「ホームレス大学生」とか、そんなまで 置いてくれているのが驚きでした。</p> <p>藤井： 田村さんにまつわる沢山の資料がありましたからね。 気になる方は「レファレンスサービス」で調べてみてください。</p> <p>田村： いろんなこと調べてみたいです。</p> <p>藤井： このレファレンスサービスの詳細は、図書館のホームページからも 確認することができます。 皆さんも抱えている素朴な疑問を図書館で相談してみても いかがでしょうか？ 以上、「吹田の自由研究」でした。</p>

TIME	映像	内容
		田村： 「田村裕のすい散歩」のお時間でございます。 本日は吹田駅前の旭通商店街を散歩したいと思います。 さっそく行きましょう。
		田村： 旨そうな店あるやん。 「肉のいろは」さん。お母さん、こんにちは。どうも。
		女性： お兄ちゃん！
		田村： お兄ちゃん？
		女性： お兄ちゃん、来はったよ。
		田村： 今日は何が良いですか？
		男性： 1000円のすき焼き用が650円！
		田村： これ？ うわ！これ、めちゃくちゃ良い肉ですよ！
		男性： 今日、来るって聞いたんで。
		田村： 俺が来るって聞いて？
		男性： 買ってくれるって聞いたんで。
		田村： すいません。財布持ってなくて、名刺しかないんですよ。

男性：

マジっすか！？

田村：

名刺渡してもいいですか？

吹田市の広報番組で「お元気ですか！市民のみなさん」っていう。

男性：

知ってますよ！

田村：

本当ですか！9月から僕が番組を担当することになりまして、

男性：

すごい！（肉）買えるじゃないですか！

田村：

そうですね。ギャラ次第ですけどね。

誰も聞いてませんけどね。

どこか（名刺を）置いておいてもらって、（番組を）広めてください。

お願いします。

田村：

こんにちは。

女性：

こんにちは。

田村：

「お元気ですか！市民のみなさん」ご存知ですか？

女性：

知らないです。

田村：

え！吹田市民ですよ？

女性：

そうかな。

田村

吹田市の広報番組なんですけど、9月から僕が担当することになりました。

女性：

頑張ってください。

田村：

冷たい！冷たい！全然興味ないやん！

でも、これで知ったからね。見てください。見ます？

女性：

見ます！見ます！

田村：

見るかな、ホンマに。お母さん、こういう時、見る？

娘：

あ、たぶん。

田村：

この2人、適当やな！これは適当親子を捕まえてしまったな。

絶対見てください。絶対ですよ！

もしお互いが見てなかったら、殴り合いしてくださいね。

「あんた、見てへんやないの！」言うて。

田村：

こんにちは。カメラ入っても大丈夫ですか？

男性：

大丈夫ですよ。

田村：

お店の名前は何ていうんですか？

女性：

「カナル」です。

田村：

カナルさん。どういう意味なんですか？カナルって。

	<p>女性： 鳥の「鴨」です。フランス語で「鴨」。</p> <p>田村： なんで鴨なんですか？</p> <p>女性： 名字が「カモ」なんです。</p> <p>田村： お二人の名字「カモ」さん。</p> <p>女性： そう。</p> <p>田村： シンプル！ ちなみに一番人気のパンをどれですか？</p> <p>女性： ミニクロワッサンです。賞もらってるんです。</p> <p>田村： え！ 吹田味自慢コンテスト“街のパン屋さん編”認定証書！ ミニクロワッサンはどれですか？</p> <p>女性： 本日、売り切れました。</p> <p>田村： ホンマに人気や。 9月から（広報番組を）僕がやってるんで見てくださいね。 吹田市の皆さんに愛される番組を作りたいので、よろしくお願いします。</p> <p>女性： ミニクロワッサン無いので、これで。おやつどうぞ。</p> <p>田村： カメラをまわしただけで、あんパンいただきました。</p>
--	---

TIME	映像	内容
	<p>スタジオ T 吹田のトピックス</p>	<p>田村： 続いては、吹田の街で行われた出来事などをご紹介します 「吹田のトピックス」です。</p> <p>藤井： 今回は9月に行われた2つの話題をお届けします</p>
	<p>VTR</p>	<p><u>ナレーション</u>・(藤井)</p> <p>9月23日、Panasonic Stadium Suita で 「第17回千里メディカルラリー」が開催されました。</p> <p>このメディカルラリーとは、救急救命を専門とする医師や看護師、 救急救命士などがチームを組んで、決められた時間内で、模擬患者を 的確に治療をすることが出来るかを競う技能コンテストです。 今回は全国の救急救命センターや自衛隊医療班、JICAなど 20チームが参加しました。</p> <p>これは、飛行機の中での出産のシナリオです。</p> <p>今回は5つのシナリオが用意されました。 こちらは、スタジアムで試合観戦中に倒れたお客さんの対応を 行っています。 野次馬に囲まれながらも、いかに的確に処置をするかが重要です。</p> <p>そして、こちらは試合開催中に大地震が起きたというシナリオ。 各チームが手分けをして、スタジアム内のあちらこちらにいる 負傷者の対応をおこないました。</p> <p>どのシナリオも、参加チームには事前に何も知らされていない中で、 メンバーが協力しながら臨機応変に対応していました。</p>

ナレーション・(藤井)

9月24日、南千里駅前広場で
「十五夜ムーンライトコンサート」が行われました。

これは、中秋の名月の月明かりのもと、エコなエネルギーで
おだやかに音楽を楽しんでもらおうというもの。

ソーラーパネルで発電し、電気自動車のバッテリーに
蓄えた電力を、照明や音楽機材に使用。
CO2を排出しないエコな電力でコンサートは行われました。

使用機材を減らして消費電力を抑える目的もあり、
アカペラやコーラスが演奏されました。

十五夜の雰囲気ぴったりですね。

みなさん、月明かりのもと、音楽を楽しんでいました

TIME	映像	内容
	<p>スタジオ</p> <p>T お元気放送時間 吹田市 お元気 検索 T 手話協力 T 企画:吹田市 T 制作著作 J:COM</p>	<p>藤井： 薄暗くって、ロマンチックな感じでしたね。</p> <p>田村： そうですね。ムーディーな照明で良いですよ、エコで。</p> <p>藤井： 以上「吹田のトピックス」でした。 早いもので、もうエンディングのお時間となりました。</p> <p>田村： もうエンディングですか！あっという間ですね、ほんま。</p> <p>藤井： 毎回、あっという間にお届けしていますが。</p> <p>この番組は月曜日から金曜日は午後6時20分から、土日はお昼12時から放送しています。 また市のホームページでもご覧いただけます。 スマートフォンでチェックすることもできますので是非ご覧ください。 「吹田市 お元気」で検索してみてください！</p> <p>田村： それでは、また次回お会いしましょう。 さようなら。</p> <p>藤井： さようなら。</p>